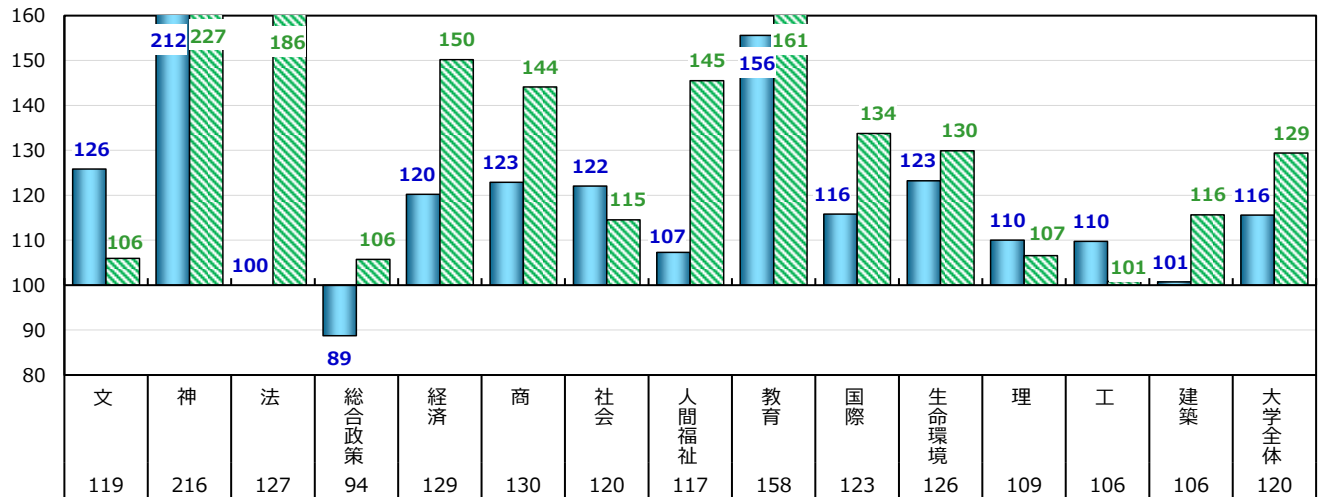


関西学院大：大学全体では多くの入試変更の効果で4年連続増加 一般：+4,474人 共テ：+4,413人

※前年度の志願者数を100とする指数  
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点

出願方法：全学部<一般>、<共テ併用>…共通テスト実施日の翌月曜日に出願締切  
 →共通テスト実施日の翌月曜日から翌水曜日に出願締切日を延長  
 試験日程：文、神、法、総合政策、経済、商、社会、人間福祉、教育、国際  
 <共テ併用・英語>…全学部あわせて1日で実施 ※国際学部は英語重視型も実施  
 →文・法・総合政策・商・人間福祉で1日、神・経済・社会・教育・国際で1日の合計2日間で実施 ※国際学部は英語重視型も実施  
 選抜方法：文、神、法、総合政策、経済、商、社会、人間福祉、教育、国際  
 <一般・学部個別(3科目型)>→<傾斜配点型(2/3・4)、均等配点型(2/6・7)>  
 ※3科目型から傾斜配点型、均等配点型の2方式へ  
 ※人間福祉は従来通り英語・国語型を実施  
 国際、教育<共テ併用・数学>…新規実施  
 入学検定料：文、神、法、総合政策、経済、商、社会、人間福祉、教育、国際  
 <一般・学部個別(均等配点型)>…1出願につき35,000円→1出願目：35,000円、2出願目：10,000円  
 <共テ併用・英語>、<共テ併用・英語(英語重視型)>との併願で減額制度を適用  
 ※志望する学部・学科・課程・専修・コース・専攻が同じ場合に限る  
 <共テ併用・英語>…1出願につき35,000円→1出願目：35,000円、2出願目：10,000円  
 <一般・学部個別(均等配点型)>との併願で減額制度を適用  
 ※志望する学部・学科・課程・専修・コース・専攻が同じ場合に限る。  
 ただし、国際の<共テ併用・英語>、<共テ併用・英語(英語重視型)>での併願不可  
 法、総合政策、経済、商、社会、生命環境、理、工、建築  
 <共テ併用・数学>…1出願につき35,000円→1出願目：35,000円、2出願目：10,000円  
 <一般・英数日程>との併願減額制度を適用  
 ※志望する学部・学科・課程・専修・コース・専攻が同じ場合に限る  
 法、総合政策、経済、商、人間福祉、国際、生命環境、理、工、建築  
 <一般・英数日程>…1出願につき35,000円→1出願目：35,000円、2出願目：10,000円  
 <共テ併用・数学>との併願減額制度を適用  
 ※志望する学部・学科・課程・専修・コース・専攻が同じ場合に限る(人間福祉学部除く)  
 国際<共テ併用・英語(英語重視型)>…1出願につき35,000円→1出願目：35,000円、2出願目：10,000円  
 <一般・学部個別(均等配点型)>との併願減額制度を適用  
 ※国際を志望する場合に限る

COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、8,887人(120)の大幅増加で4年連続増加。志願者数は5万人を上回った。<一般・学部個別>での2方式実施、併願時検定料減額制度(以下「減額制度」と表記)導入、出願締切日の延長といった変更の効果があった。学部別では、14学部中13学部が増加。減少は総合政策(94)のみ。方式別では、一般方式は4,474人(116)の大幅増加で4年連続増加、志願者数は33,000人を上回った。減額制度導入の<一般・英数日程>(208)は倍以上、文系10学部で(傾斜配点型)、(均等配点型)に2方式にした<一般・学部個別>は、(傾斜配点型)、(均等配点型)の合計と前年度の(3科目型)との比較で(131)の大幅増加。共通テスト利用方式は減額制度の導入により、4,413人(116)の大幅増加。前年度共通テストの必須科目を廃止して激増した<共テ併用・英語>(187)は減額制度と実施日の拡大により2年連続激増。同様に減額制度を導入の<共テ併用・数学>(161)も激増。

<一般方式>

○文(126)は、大幅増加で3年連続増加。志願者数は4,200人を上回った。学科・専修別では、11学科・専修中8学科・専修で増加。特に、(文化歴史/西洋史学)(192)は激増、(総合心理科学)(158)、(文化歴史/哲学倫理学)(150)、(文学言語/日本文学日本

語学)(147)、(文学言語／フランス文学フランス語学)(131)はいずれも大幅増加。一方で、(文化歴史／アジア史学)(93)、(文学言語／英米文学英語学)(97)はやや減少。(文学言語／ドイツ文学ドイツ語学)(100)は2年連続大幅増加の反動はなく前年度並。

- 法(100)**は、前年度並。学科別では、(政治)(130)は3年連続大幅増加。一方で、(法律)(90)は3年ぶりに減少。志願倍率は(政治)が10.9倍、(法律)が7.5倍で、2年連続で(政治)の志願倍率が上回った。
- 総合政策(89)**は、3年ぶりの減少だが、2年連続大幅増加の反動は小さかった。
- 経済(120)**は、大幅増加で3年連続増加。志願倍率は9.9倍→11.9倍にアップし、6年ぶりに10倍を上回った。
- 商(123)**は、大幅増加。志願倍率は8.2倍→9.9倍にアップし、4年ぶりに9倍を上回った。2019年度より前年度の反動による増減が継続。
- 社会(122)**は、2022年度までの5年連続減少から、一転して2年連続大幅増加。志願倍率は9.5倍→11.2倍にアップし、7年ぶりに10倍を上回った。
- 人間福祉(107)**は、やや増加で3年連続増加。志願倍率は募集人員も11人(8%)増加のため、2年連続約8.9倍でほぼ変化がなかった。学科別では、(社会起業)(88)は減少、(人間科学)(96)はやや減少。一方で、(社会福祉)(147)は大幅増加で6年ぶりの増加。
- 教育(156)**は、大幅増加で2021年度までの4年連続減少から、一転して3年連続増加。志願倍率は10.6倍→16.1倍にアップし、文系学部では最も高い倍率。学科・コース別では、3学科・コースとも2年連続増加。(教育／教育科学)(193)、(教育／幼児教育学)(162)はいずれも激増、(教育／初等教育学)(132)は大幅増加。
- 国際(116)**は、大幅増加で4年ぶりの増加。志願倍率は7.9倍→8.7倍にアップ。
- 生命環境(123)**は、大幅増加で2021年度の旧理工からの学部改組以降3年連続増加。志願倍率は14.5倍→17.8倍にアップ。学科・専攻別では、5学科・専攻中、4学科・専攻で増加。特に(生命医科学／発再生生医科学)(148)、(生命医科学／生命医科学)(144)、(環境応用化)(135)はいずれも大幅増加、(生物科学)(105)はやや増加。一方で、(生命医科学／医工学)(89)は前年度倍増以上の反動で減少。
- 理(110)**は、増加。志願倍率は18.3倍→20.1倍にアップし、20倍を上回った。学科別では、(物理科学)(128)は大幅増加、(物理・宇宙)(110)は増加で、いずれも前年度大幅減少の反動。(化)(99)は前年度並。
- 工(110)**は、2021年度の旧理工からの学部改組以降3年連続増加。志願倍率は17.9倍→19.6倍にアップ。課程別では、4課程中3課程で増加し、(物質工学)(123)、(情報工学)(116)、(電気電子応用工学)(115)といずれも大幅増加。一方で、(知能・機械工学)(89)は3年連続減少、志願倍率は20.5倍→18.2倍にダウン。学部改組後は前年度まで4課程中で最も志願倍率が高かったが、一転して最も低くなった。
- 建築(101)**は、微増だが2021年度の新設以降3年連続増加。

#### <共通テスト利用方式>

- 文(106)**は、やや増加で3年連続増加。専修別では、11学科・専修中7学科・専修で増加。特に、(文化歴史／アジア史学)(134)、(総合心理科学)(130)、(文化歴史／西洋史学)(130)は大幅増加。一方で、(文化歴史／哲学倫理学)(70)は2年連続大幅減少。
- 法(186)**は、激増。志願者数は2,000人を上回った。学科別では、(政治)(277)は約2.8倍増で3年連続増加、(法律)(164)も激増。
- 総合政策(106)**は、やや増加で3年連続増加。方式別では、減額制度導入の<共テ併用・数学>(188)、<共テ併用・英語>(133)はいずれも2年連続大幅増加。一方で、<共テ・1月>(80)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 経済(150)**は、大幅増加で3年連続増加。志願者数は2,000人を上回った。方式別では、全ての方式で大幅増加。特に、減額制度を導入の<共テ併用・英語>(306)、<共テ併用・数学>(161)はいずれも2年連続大幅増加。
- 商(144)**は、大幅増加で3年連続増加。志願者数は2,000人を上回った。方式別では、減額制度を導入の<共テ併用・英語>(225)、<共テ併用・数学>(203)はいずれも2年連続大幅増加。<共テ・1月>(125)も大幅増加。
- 社会(115)**は、3年連続大幅増加。志願者数は1,500人を上回った。方式別では、減額制度を導入の<共テ併用・英語>(283)、<共テ併用・数学>(181)は激増。一方で、<共テ・1月>(81)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 人間福祉(145)**は、大幅増加で3年連続増加。学科別では、3学科全てで大幅増加。(社会福祉)(163)は前年度大幅減少の反動もあり激増、(社会起業)(149)は大幅増加で3年連続増加、(人間科学)(129)も2年連続大幅増加。
- 教育(161)**は、2年連続大幅増加。新規実施の<共テ併用・数学>を除いても(145)の大幅増加。学科・コース別では、3学科・コースとも2年連続大幅増加。特に、(教育／教育科学)(178)は激増。
- 国際(134)**は、大幅増加で2年連続増加。新規実施の<共テ併用・数学>を除いても(127)の大幅増加。新規実施を除いた方式別では、全ての方式で増加。特に、減額制度を導入の<共テ併用・英語>(238)は約2.4倍増、<共テ併用・英語(英語重視型)>(128)は大幅増加。
- 生命環境(123)**は、大幅増加で2021年度の旧理工からの学部改組以降3年連続増加。学科・専攻別では5学科・専攻中4学科・専攻で増加。増加の4学科・専攻はいずれも30%以上の大幅増加。(生命医科学／医工学)(83)のみ前年度倍増以上の反動で大幅減少。
- 理(107)**は、2021年度の旧理工からの学部改組以降3年連続やや増加。学科別では、(数理科学)(130)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(化)(114)は2年連続増加。一方で、(物理・宇宙)(91)のみ2年連続増加の反動で減少。
- 工(101)**は、微増だが2021年度の旧理工からの学部改組以降3年連続増加。課程別では、増減それぞれ2学科ずつ。増加の2学科は、(電気電子応用)(124)は大幅増加、(物質工学)(107)はやや増加でいずれも3年連続増加。一方で、(知能・機械工学)(86)は前年度大幅増加の反動で減少、(情報工学)(96)はやや減少。
- 建築(116)**は、2年連続大幅増加で、2021年度の新設以降最多の志願者数。方式別では、減額制度を導入した<共テ併用・数学>(133)は大幅増加。